

CBAP® 合格体験記

(日本語: CBT 試験)

張乃宁

受験日: 2018年11月11日 午前

■はじめに

私自身も CBAP® 受験にあたり、諸先輩方の体験記と IIBA 日本支部には、大変お世話になった経緯があります。それに、2016 年以降の体験記があまりない状況を踏まえて、これから受験をされる方々にすこしでも参考になればと思い、寄稿を決意いたしました。

■受験準備

まずはなにより、ビジネスアナリシス知識体系ガイド(BABOK® ガイド)を繰り返し読み込むことです。でも、予備知識とガイドがないと、“地図なしに高く険しい山に登るようなものであり、途中で道に迷い目標の頂上までたどり着くことが難しい。”(『BABOK_v3_体系と概要 Ver1.20』宮田 敏光 先生から)と実感しました。

今回合格できるのは正に IIBA 日本支部と宮田敏光先生のご厚意で、提供された“【実務者のための BABOK®V3 勉強会】～BABOK を実務に役立てるために～”のセミナーに参加できたことです。BABOK の概念を問題解決プロセスに当てはまって、わかりやすく解説してくださいました。セミナーにおいて、宮田敏光先生と IIBA 日本支部濱井和夫様をはじめ、参加者の皆様からもいい質問と経験が共有されました。一緒に切磋琢磨し、とてもいい勉強になりました。この 5 か月間の勉強によって、切実に成長できたと思います。

これからこのようなチャンスがあれば、ぜひ皆様もご参加ください。

試験に合格するためには、各タスクのインプットとアウトプットとの関係も把握する必要があります。タスクと各テクニックの要素は全て理解し、暗記したほうがいいです。

参考書:

BABOK_v3_体系と概要 Ver1.20 宮田敏光 先生の講座のノート(大変参考になった)

CBAP / CCBA Certified Business Analysis Study Guide, 2nd Edition Susan Weese (著)
(英語版)(あまり薦めていない)

CBAP Question Bank Simulator(英語のみ) adaptiveus

<https://www.adaptiveus.com/product/cbap-exam-questions/>

(薦めている。出題の仕方・発想はかなり実際のテストに近い)

(※“BABOK V3 対応済み”と名乗る市販問題集を購入したら、実際にみると対応していないとわかって、騙された苦い経験がありました。)

■出願

IIBA 日本支部の CBAP®日本語試験の説明会に出て、詳しく説明されました。同じく IIBA 日本支部の CBAP®日本語試験の説明会に出るか、ホームページでも情報があります。ほかの方の経験談にもあるので、割愛します。

■受験日当日

試験会場はお茶の水ソランティでした。建物と会場は綺麗で、受験されやすいです。でも、トイレは時には列が並べられることがあります。

試験自体は 3.5 時間、事前確認、受験の仕方のチュートリアルと試験後のアンケートを含めると 4 時間となります。ケーススタディと単純な質問は交えて出題されて、ある程度バランスを取れる状態です。試験途中で疲れたら、休憩をとったほうがいいと思います。

■合格後のフォローについて

CBAP®の日本語試験に合格されたら、すぐ Prometric から結果知らせメールを受信しました。メールに二営業日以内に IIBA から連絡があると書いていますが、日本語試験のせい、ポータルサイトへの反映は自動インタフェースされていないらしく、三日目に自ら問い合わせしました。その夜、すぐに回答が来てました。PDF の証明書ももらいましたし、メールに IIBA のホームページが改版中の説明もあり、“My profile”へ証明書の反映と“Listings of Certification Recipients”への追加は年明けからなると、親切に説明してくださいました。

■受験後の活動について

BABOK に記載された知識体系が美しいと思い、これを参考にし、実際のプロジェクトと現場に活用したいと思います。

今回 IIBA 日本支部の主催ゼミナーのおかげさまで CBAP に合格しましたので、これからも IIBA 日本支部の主催活動にもっと積極的に参加し、時間があるとき、ボランティア活動にも参加しようと思っております。

以上